学習・教育到達目標およびJABEEの基準1の(2)と授業科目との対応表（平成29年度以降入学生用）

			情報科学・情報技術の基礎を確実に身につけ、高い倫理観を持った職業人として地域社会の発展に貢献できる人材の育成																	情報技術を適切に活用できる能力をもった人材の育成					
			A-1 科学的基礎を身につける				A-2 情報科学・情報技術の基礎を身につける										A-3 職業人としての基礎的能力を身につける			B-1 基礎教養を身につける	B-2 高度の専門技術を身につける		B-3 応用能力を身につける		
		勘案事項	A-1-1コンピュータとネットワークについて基本的な事項を知り、情報の受発信の基礎的な技能とモラルを身につける。	A-1-2 微分積分、線形代数の基本事項を知り、問題を数学的に思考する基礎を身につける。	A-1-3 自然科学のある分野について知り、自然科学的方法論を問題解決に応用する基礎を身につける。		A-2-1 集合、ブール代数、論理学など、離散数学の基礎を身につける。	A-2-2 プログラミングの基礎に加えて、抽象データ型やクラス、基本的なアルゴリズムをプログラミングできる能力を身につける。	A-2-3 命令語の実行から、計算機全体のレベルの動作まで、講義だけではなく、アセンブリプログラミング実習も行って、実践的な能力を身につける。	A-2-4 ネットワークについて、その基本的な仕組みを理解し、さらにその実現の基本となるプロトコルを学ぶ。	A-2-5 オブジェクト指向設計手法において必須である図の描き方を修得し、演習を通じて様々な設計事例を学ぶ。	A-2-6 組合せ回路、順序回路の基礎を身につける。また、実際の機械を制御するための回路を設計し、実装する。さらに簡単なCPU設計も体験する。	A-2-7 プログラミングとコンパイラの両面から、プログラム言語についての理解を深める。	A-2-8 確率論の基礎を身につけ、さらに情報理論や符号理論との関わりを学ぶ。	A-2-9 統計学の基礎を身につけ、具体的なデータ解析を通して統計手法を利用できる能力を身につける。		A-3-1 技術者倫理の重要性と実際に倫理的な行動をとることの難しさを理解し、技術が自然や社会に与える影響について考えることができる。	A-3-2 日本語について、論文やレポートの形式と書き方を学ぶことにより、日本語文章の論理的な記述力を養う。また、情報科学に関連したテーマの調査、分析、討論により日本語の発表力、コミュニケーション能力を養う。	A-3-3 外国語について、国際語として重要な英語を中心に学習することにより、国際的コミュニケーション技術の基礎を身につける。	B-1-1 情報科学・情報技術に関する専門的テーマのいずれかについて、調査、分析、討論、実装などの方法を学ぶ。	B-2-2 専門的テーマの研究を通して、情報科学・情報技術の最新の動向を理解する。	B-3-1 情報科学・情報技術に関する重要な課題に対して、他者と協力し、納期・費用・品質などを考慮して、それまでに学習した知識・技術を応用する方法を学ぶ。	B-3-2 各人に与えられた研究課題について、主体的・計画的に文献調査、実験、研究討論などを行い、その成果を卒業論文としてまとめる方法を学ぶ。	B-3-3 一年間の継続的研究活動を通じて、技術者として必要とされる考察力、判断力、創造力を養い、より高度な学問分野への取り組み方や技術者として社会に貢献できる能力を身につける。
地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養	(a)	・人類のさまざまな文化、社会と自然に関する知識 ・それに基づいて、適切に行動する能力																		[基礎教育科目] 九州学					
技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に対して負っている責任に関する理解	(b)	・ 当該分野の技術が公共の福祉に与える影響の理解 ・ 当該分野の技術が、環境保全と社会の持続ある発展にどのように関与するかの理解 ・ 技術者が持つべき倫理の理解 ・ 情報セキュリティに対する責任の理解 ・ 上記の理解に基づいて行動する能力	情報リテラシー			電気工学概論 機械工学概論 計画と管理									情報セキュリティ	技術者倫理 --- 情報と職業 インターンシップ ゼミナール・サポーター								
数学及び自然科学に関する知識とそれらを応用する能力	(c)	・当該分野で必要な数学（離散数学及び確率・統計を含む）及び自然科学に関する知識 ・上記の知識を組み合わせることも含めた応用能力		微分積分Ⅰ・Ⅱ 線形代数Ⅰ・Ⅱ --- 基礎数学、解析幾何学、初等幾何学、ベクトル解析、微分方程式、複素解析、微分幾何学Ⅰ・Ⅱ、位相幾何学Ⅰ・Ⅱ、代数学Ⅰ・Ⅱ、数値解析学、位相空間論、関数解析学	基礎物理 物理学 現代自然科学		離散数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ						情報理論・確率論	統計学 --- 確率統計										
当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力	(d)	・当該分野において必要とされる専門的知識	情報リテラシー					プログラミング入門 プログラミング基礎Ⅰ,Ⅱ	計算機構成論Ⅰ・Ⅱ	コンピュータネットワーク		ハードウェア設計Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ハードウェア実験Ⅰ・Ⅱ	プログラミング基礎Ⅰ・Ⅱ プログラミング言語とコンパイラ			データベース、信号処理、情報セキュリティ、パターン認識と機械学習、オペレーティングシステム					情報科学演習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究	情報科学演習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究 --- コンピュータグラフィックス基礎、ゲームプログラミング演習、情報処理技術Ⅰ・Ⅱ、ヒューマンコンピュータインタラクション、知能情報システム論、交通システム論、アルゴリズム論、コンピュータグラフィックス応用、経営情報学、マルチメディア、知的財産権、金融システム論、流通システム論、工業デザイン、プロジェクトデザイン管理、実践情報科学演習			
		・上記の知識を組み合わせることも含めた応用能力 ・当該分野において必要とされるハードウェア・ソフトウェアを利用する能力 ・適切な技法及びツールを選択し、必要があれば作り出して、複合的な情報処理に適用する能力						プログラミング演習Ⅰ(モバイルアプリ)、プログラミング演習Ⅱ(デスクトップアプリ)、プログラミング演習Ⅲ(ビジネスアプリ)、 グラフィックスプログラミング演習、クラウドプログラミング演習、Webプログラミング演習				組込みソフトウェア演習												
		(1) コンピュータを用いたシステムのモデル化及び設計に、数学的な基礎、アルゴリズムの諸原理及び情報科学の諸理論を応用する能力。						データ構造とアルゴリズムⅠ・Ⅱ								モデリングとシミュレーション、計算モデル論								
		(2) 様々な複雑性を有するソフトウェアシステムの構築に、設計や開発の諸原理を応用する能力。									オブジェクト指向設計										ソフトウェア工学			
種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力	(e)	・解決すべき問題を認識する能力 ・公共の福祉、環境保全、経済性などの考慮すべき制約条件を特定する能力 ・問題を分析し、モデル化を行い、その解決に必要な情報処理上の要件を抽出し定義する能力 ・与えられた要求に対して、各種制約の下でコンピュータを用いたシステム、プロセス、コンポーネント又はプログラムをデザインし、実装し、評価できる能力								オブジェクト指向設計	ハードウェア設計Ⅲ ハードウェア実験Ⅱ											プロジェクトデザイン管理 情報科学演習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究		情報科学演習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究
論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力	(f)	・情報や意見を他者に伝える能力 ・他者の発信した情報や意見を理解する能力 ・英語等の外国語を用いて、情報や意見をやり取りするための能力																日本語表現法 情報科学演習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究 --- 基礎ゼミナール 情報科学基礎演習	[外国語科目]（英語系科目8単位以上を含み10単位以上）					情報科学演習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究	
自主的、継続的に学習する能力	(g)	・将来にわたり技術者として活躍していくための継続的研鑽の必要性の理解 ・必要な情報や知識を獲得する能力																					情報科学演習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究	情報科学演習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究
与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力	(h)	・時間、費用を含む与えられた制約下で計画的に仕事を進める能力 ・計画の進捗を把握し、必要に応じて計画を修正する能力																					情報科学演習Ⅰ・Ⅱ 卒業研究	
チームで仕事をするための能力	(i)	・他者と協働する際に、自己のなすべき行動を的確に判断し、実行する能力 ・他者と協働する際に、他者のとるべき行動を判断し、適切に働きかける能力																					プロジェクトデザイン管理		

赤字： 学習・教育到達目標の達成度を評価するための主要な科目（情報科学総合コース必修科目）
青字： 学習・教育到達目標の達成度を評価するための主要な選択科目（情報科学総合コース選択必修科目）

学習・教育到達目標がJABEEの基準1の(2)の知識・能力を主体的に含んでいる
学習・教育到達目標がJABEEの基準1の(2)の知識・能力を付随的に含んでいる